

「情報誌ロゼ」作製事業
評価基準書

区分	項目	評価の視点	評価得点 〈最低水準点〉
(1) 趣旨の理解	① 趣旨の理解について	富士市の文化を情報発信していく内容となっているか。	20 〈8〉
(2) 業務実績	① 事業者の業務実績について	情報誌ロゼを作製するための情報収集と企画作業、デザイン、レイアウト、写真撮影作業など、それに関わる必要な知見、専門知識、ノウハウを有しているか。	30 〈12〉
(3) 業務執行体制と スタッフの適性	① 執行体制について	・業務執行のための適切な人員配置及び役割分担が妥当か。 ・財団との連絡、調整、進捗管理が速やかに行うことができる体制で、状況に応じて迅速かつ臨機応変な対応が可能な体制か。	40 〈16〉
	② スタッフの適性について	・管理者及びスタッフが必要な知見、専門知識、ノウハウを有しているか。	
(4) 事業計画等 (企画書について)	① 内容のコンセプトについて	・業務の全体像を描き、富士市の文化及びロゼンアターの情報を発信する内容となっているか。 ・視覚性の向上を意識した内容となっているか。 ・読者ターゲットを意識した内容となっているか。	160 〈64〉
	② 編集方針について	・中長期的な編集計画となっているか。 ・デジタルコンテンツとの連携がなされているか。 ・市民が欲している知りたい情報をリサーチし、内容に反映させているか。	
	③ 配布計画について	・配布計画について、確実に配布が行える体制となっているか。 ・効果的に配布される計画となっているか。 ・地元地域に根差した展開となっているか。	
	④ 独自提案について	・作製の目的達成のための有効な独自提案か。 (ただし、提案限度額内で実行可能なもので、追加予算を必要としないものに限る)	
	⑤ 実現可能性	実施計画等の内容が、実現性が高いものか。	
(5) 価格	令和3年度(単年)の金額	提案限度額から － 1円～100,000円・・・10 － 100,001円～200,000円・・・20 － 200,001円～300,000円・・・30 － 300,001円～400,000円・・・40 － 400,001円～・・・50	50
合計			300